

袋井市地域公共交通計画の数値目標の評価及び今年度の事業計画について

令和3年3月に策定した袋井市地域公共交通計画に基づき、「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するために位置付けた事業の取組みについて、事業の評価・検証を実施します。また、今後の事業計画についても併せて検討します。

1 令和3年度の主な取組み内容

1-③市内高校への通学路線の確保・維持

●袋井駅・中東遠総合医療センター線の経路変更

袋井高校を経由するルートに変更し、高校生の通学利用が可能な時間に運行ダイヤを一部改正して運行を開始した。(令和3年4月)



●市内高校へのチラシ配付

市内高校（袋井高校・袋井商業高校）で実施された「中学生の1日体験入学※」に合わせてチラシを作成し、高校入学の際にバス通学を検討する契機とするため、来校者（中学生・保護者）に対して入学案内と併せて配付した。また、在校生に対する案内も実施した。



※1日体験入学：

進学を考えている中学生を対象に、学校紹介や授業体験などを実施し、高校への理解を深め、進路選択の参考とする機会として実施している。

2-①地域主体の移動手段の確保

●「(仮称) 地域タクシー」の導入に向けた協議、試験運行の実施

地域主体の新たな移動手段である(仮称)地域タクシーの導入に向け、集中支援地区として計画に位置付けている袋井東地区において、地域での勉強会や運行方法の検討などを進めた。

4-①路線バスの情報化、7-①通学を対象とした路線バスの利用促進策の実施

●バスロケーションシステムの試験導入(秋葉バス)

スマートフォンでバスの位置情報がわかるバスロケーションシステムを全車両に搭載し、利用者がバスの運行情報(遅延情報)の確認が可能となった。(10月4日公開)

今後、利用者がアクセスできるように周知を進める。



(<https://akiha.bustei.net/buslocation>)

「秋葉バスロケ」配信画面の一例

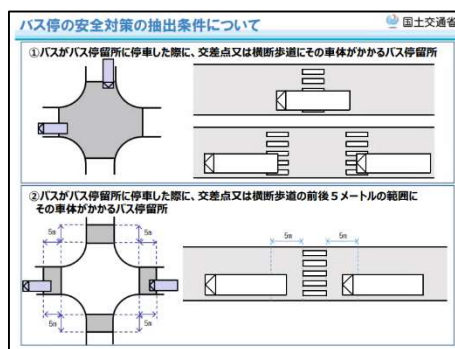


●バス停の安全対策

横断歩道や交差点に近接し、危険なバス停とされる停留所について、移設や待合スペースの確保など、対策を順次実施する。



←啓発チラシ(中部運輸局)



↑対象となるバス停の条件(国土交通省)

<市内の危険なバス停とされた停留所一覧>

バス停名	バス停の状況 (抽出条件)	優先度 ランク分け	対策実施 時期
笠原駐在所前(袋井行き)	横断歩道に車体がかかる	A	R4.1
月見の里学遊館前(森町行き)	交差点の前後5m	C	R4.3
袋井商業高校前(森町行き)	交差点の前後5m	C	R4.4
袋井商業高校前(袋井駅行き)	横断歩道の前後5m	B	R4.4
諸井下(大東行き)	交差点の前後5m	C	R4.5
太田上(深見東行き)	交差点に車体がかかる	B	R4.5
太田上(袋井駅行き)	交差点に車体がかかる	B	R4.5

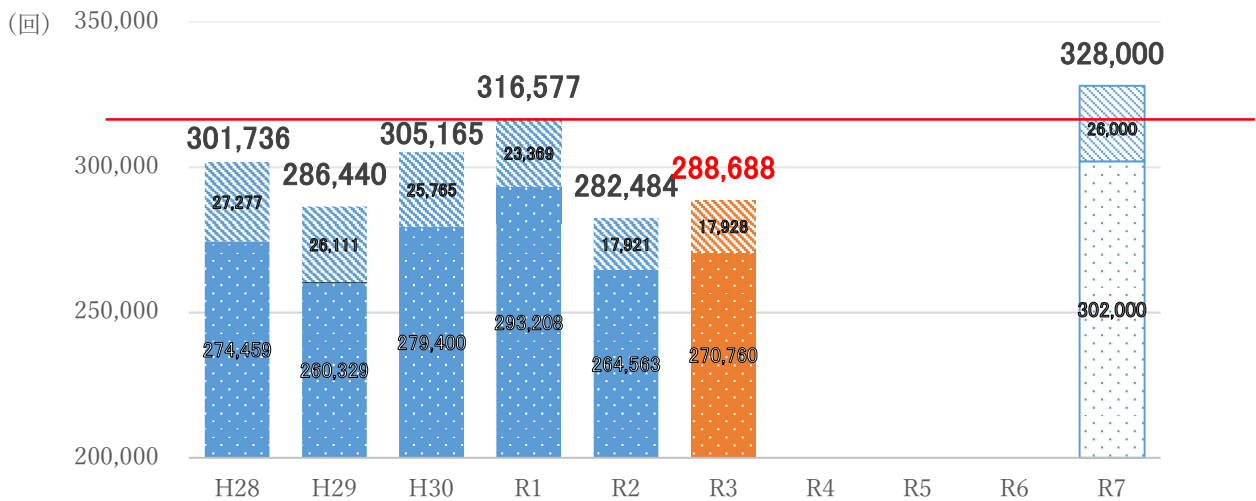
その他、各事業(別紙)「袋井市地域公共交通計画に基づく実施事業」参照

(別紙) 袋井市地域公共交通計画に基づく実施事業

区分	事業名	事業概要	実施主体	実施期間					目標1 公共交通 に日常から 利用される	目標2 高齢者や 高校生に 利用される	目標3 地域で支 え合う	令和3年度以前の取り組み		
				R3	R4	R5	R6	R7						
運行のレベルアップ	1 基幹路線の質の向上	1-① 鉄道の維持	・鉄道の運行	鉄道事業者	●	●	●	●	●	●	●	・継続実施		
		1-② 基幹バス路線の維持・改善	・通学・通勤手段として基幹バス路線(秋葉線・秋葉中遠線)の維持・改善(系統・経由地・バス停位置改善等)	バス事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	・危険なバス停の安全対策実施	
		1-③ 市内高校への通学路線の確保・維持	・市内高校へのバス路線の確保・維持・魅力化	バス事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	・1日体験入学時の啓発チラシ配付 ・袋井駅・中東遠総合医療センター線の経路変更、バス停追加	
	2 地域の移動手段の確立	2-① 地域主体の移動手段の確保	・地域主体の新たな移動手段の導入実験・運行 ・地域の移動手段を考える会の設立・支援	市民(自治会等)/タクシー等交通事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	・(仮称)地域タクシーの導入に向けた試験運行実施(袋井東地区)	
		2-② 持続可能な地域協働運行バスの構築	・持続可能な運行方法の検討・移行	地域協働運行バス運営委員会/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・運行体制の見直し、地区別説明会の実施(三川地区)
サービスのレベルアップ	3 お得な運賃制度	3-① 運賃割引制度の導入	・基幹バス路線等における運賃割引制度の実証実験	バス事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●		
		3-② バス通学定期券購入費補助制度の導入	・高校生のバス通学定期券購入費の一部を補助	バス事業者/袋井市/教育機関	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		3-③ 運転免許証返納者割引制度の導入	・高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度	交通事業者/袋井市/警察	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	4 分かりやすい情報提供	4-① 路線バスの情報化	・バスデータを活用した情報提供 ・袋井駅や主要施設におけるデジタルサイネージ等の設置	バス事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・バスロケーションシステムの試験導入 ・Googleマップ等経路検索サイトへの掲載(継続)
		5 乗継・待合環境改善	5-① バス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備	・基幹バス路線のバス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備	バス事業者/袋井市/道路管理者	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	5-② バス停待合環境の改善		・利用者の多いバス停や主要施設のバス停の待合環境整備	バス事業者/袋井市/道路管理者	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 UD	6-① 車両のバリアフリー化	・ノンステップバスの導入 ・ユニバーサルデザインタクシーの導入	バス・タクシー事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・自主運行バスの車両更新(手すり+ステップ付き)	
関係者意識のレベルアップ	7 意識変革	7-① 通学を対象とした路線バスの利用促進策の実施	・バスロケーションシステムによるリアルタイム情報提供 ・高校別時刻表の作成等	バス事業者/袋井市/教育機関	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・バスロケーションシステムの試験導入
		7-② 大人のバス乗り方教室の開催	・運転免許証自主返納者等を対象としたバスの乗り方教室の実施	コミュニティセンター/シニアクラブ/交通事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・シニアクラブ袋井市より市内各団体へ自主運行バスの時刻表、路線図を配付
		7-③ ちびっこバス乗り方教室の開催	・小学生を対象とした楽しく学べるバスの乗り方教室の実施	袋井市/交通事業者/小学校	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・市内小学校へバスの乗り方教室を実施
		7-④ 公共交通ガイドの作成	・公共交通総合ガイドブックの作成 ・新たな移動手段の分かりやすい乗り方案内の作成	袋井市/交通事業者/地域公共交通会議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・利用啓発のチラシに乗り方案内を記載
8 人材確保 安心確保	8-① 運転士の人材確保	・交通事業者と連携した就労支援	交通事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・第二種運転免許取得支援事業の制度設計	
	8-② 公共交通の安心対策	・感染症拡大防止の取り組みの徹底と啓発活動実施	交通事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・市広報誌や社内掲示を実施(継続) ・街頭啓発の実施を検討	

2 数値目標の評価

評価指標 1：路線バス等の年間利用回数



※上段：路線バス（秋葉バスサービス(株)が運行する路線（袋井駅・中東遠総合医療センター線含む）
下段：自主運行バス等（自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バス）

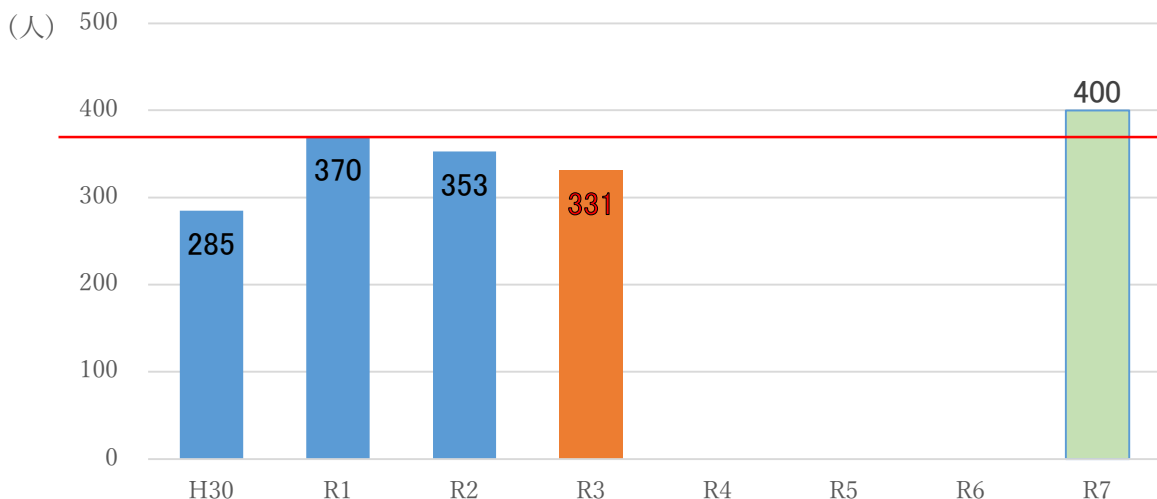
(1) 達成状況・分析

路線変更による高校の通学利用も一部加わり、コロナ禍により大きく減少した令和2年度からは回復傾向にあり、利用回数は増加した。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

袋井駅南の商業施設からの利用など新規利用者の取り込みに向け、更なるPR活動や周知方法の改善を実施する。

評価指標 2-1：運転免許証の自主返納者数



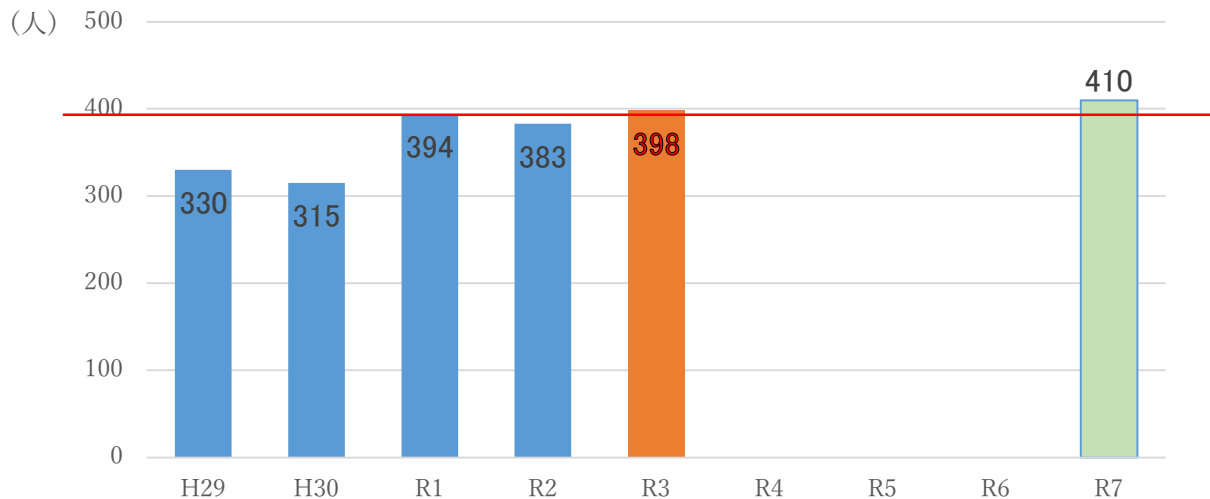
(1) 達成状況・分析

返納者数が大きく上昇した令和元年度からは減少傾向となっている。自主返納者は、運転免許経歴証明書の発行を併せて行う方が多いが、同証明書を発行せず、失効とともに更新をしないケースも一定数いると考えられる。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

公共交通の利用促進に加え、高齢者の運転免許更新が厳格化されたことも踏まえ、制度の周知とともに、引き続き免許証の返納の促進を図る。

評価指標 2-2 : 路線バスの通学定期券の利用人数



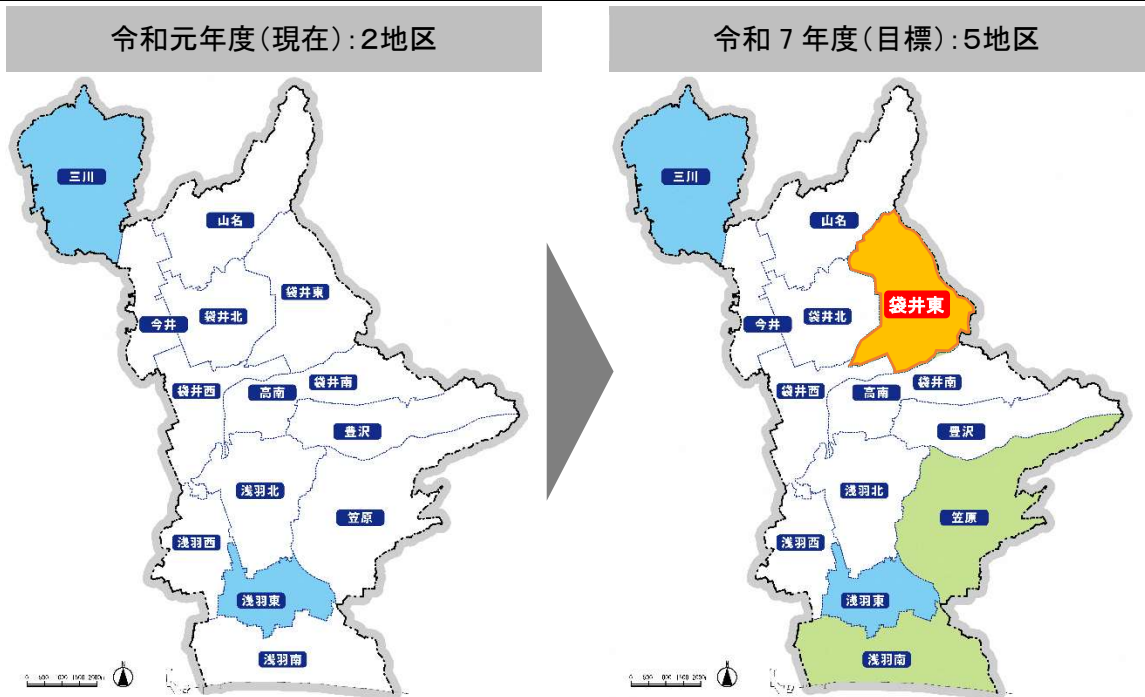
(1) 達成状況・分析

袋井高校を經由する路線変更やダイヤ改正も起因し、利用人数は増加した。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、進学を控えた中学生向けへのPR活動も併せて実施していく。

評価指標 3 : 地域主体による移動手段の運行地区数



(1) 達成状況・分析

袋井東地区にて（仮称）地域タクシーの試験運行を実施し、3地区とした。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

試験運行を実施した袋井東地区において、運行方法の改善を図った上で、本格運行に向けた試験運行を再開する。

また、他地区においても、導入の可能性を検討する。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

袋井市地域公共交通計画の評価等結果（令和3年4月～令和4年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
路線バス等の年間利用回数：316,577回/年（令和2年度）→328,000回/年（令和7年度）	計画に位置付ける各種事業の実施	交通事業者や市が有する年間の公共交通利用回数	・288,588回/年（令和3年度） ・路線改変による高校の通学利用も一部加わり、コロナ禍により大きく減少した令和2年度からは回復傾向にあり、利用回数は増加した。 （令和2年度：282,484回/年）	・袋井駅南の商業施設からの利用など新規利用者の取り込みに向け、更なるPR活動や周知方法の改善を実施する。	
運転免許証の自主返納者数：353人（令和2年）→400人（令和7年）	高齢運転者が安心して運転免許証を自主返納できる交通環境の整備	袋井警察署が有する年間の運転免許返納者数	・331人/年（令和3年） ・令和元年度をピークに減少傾向にある。	・高齢者の運転免許更新が厳格化されたことから、制度の周知とともに返納も促進する。	年単位（1月～12月）の期間で算出
路線バスの通学定期券の利用人数：394人（令和元年度）→410人（令和7年度）	高校生が通学手段として公共交通を選択できるためのサービス提供	交通事業者が有する年間の通学定期県購入者数	・398人（令和3年度） ・路線変更やダイヤ改正により、利用人数は増加した。 （令和2年度：383人）	・高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、進学を控えた中学生向けへのPR活動も併せて実施していく。	
地域主体による移動手段の運行地区数：2地区（令和元年度）→5地区（令和7年度）	公共交通に対する市民の意識を高め、地域ごとに地域主体の移動手段を導入	運行地区数	・3地区（令和3年度） ・袋井東地区にて（仮称）地域タクシーの試験運行を実施した。	・試験運行を実施した袋井東地区において、運行方法の改善を図った上で、本格運行に向けた試験運行を再開する。 ・他地区においても、導入の可能性を検討する。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

3 今年度の事業計画について

令和3年3月に策定した袋井市地域公共交通計画に基づき、「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するために位置付けた事業を実施していきます。

(1) スケジュール

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
内容	●6/2【第1回会議】 ・公共交通の状況 ・ <u>今年度事業計画</u> ・生活交通確保維持改善計画（策定）			●8月頃【第2回会議】 ・自主運行バス及びデマンドタクシーの運行検討			●12月頃【第3回会議】 ・ <u>事業評価、検証</u> ・ <u>事業見直し、次年度事業検討</u> ・地域公共交通確保維持改善事業(自己評価)				

(2) 主な取組み事業

(袋井市地域公共交通計画 (P13～) 目標を達成するために行う事業)

5-②バス停待合環境の改善

●デジタルサイネージの設置

袋井駅南北自由通路において運行情報を表示するデジタルサイネージの設置を進める。



設置例 (中津川市)

1-②基幹バス路線の維持・改善

基幹バス路線を維持するため、系統の見直しや利便性向上を図るため、交通事業者（秋葉バスサービス(株)）との検討を実施する。

2-①地域主体の移動手段の確保

地域主体の新たな移動手段「(仮称)地域タクシー」の本格導入に向け、袋井東地区において運行方法等を協議し、試験運行を再開する。

8-①運転士の人材確保

市内タクシー事業者の乗務員の第二種運転免許取得費用の補助事業実施

1-③市内高校への通学路線の確保・維持

運行経路を変更した袋井駅・中東遠総合医療センター線の利用状況の検証とともに、中学校や高校と連携したPR活動を実施する。

8-②公共交通の安心対策

感染症拡大防止のため実施している対策の周知とともに、利用者への協力を促す啓発を車内や市広報誌等を活用して実施する。